

令和4年度

第1回 大洲市総合教育会議

<資料>

日時：令和4年7月25日（月）
午後3時00分～
場所：大洲市役所 2階大ホール

大洲市・大洲市教育委員会

目 次

議題1 令和4年度主要事業の概要と進捗状況

1	G I G Aスクール構想の実現に向けた I C T教育の推進 …	2
2	放課後児童クラブの充実と推進 ……………	4
3	運動部活動の地域移行 ……………	5
4	学校給食の状況 （地産地消の状況及び原材料の価格高騰に伴う影響） ……	6
5	大洲市立幼稚園・保育所再編計画の推進と見直し ……………	8

議題2 その他

議題 1 令和 4 年度主要事業の概要と進捗状況

令和4年度 主要施策・事業調書

(担当課) 教育総務課

事業名	1 GIGAスクール構想の実現に向けたICT教育の推進
目的	令和2年度に1人1台端末及び小・中学校の通信ネットワーク等の環境整備が整い、令和3年度は意識改革期として、端末を活用することに慣れることを推し進めた。令和4年度はスキルアップ期として、活用場面を拡大していくことを目指す。
事業概要	えひめICT教育3か年計画「ICT未来創造プラン」を参考に、大洲市学校情報教育推進協議会において「大洲市学校教育情報化推進計画」の具体化を進める。令和4年度はスキルアップ期として、従来の一斉学習や個別学習に加え、協働学習や双方向学習など活用場面の拡大を図り、1日1～2コマから2～4コマ活用することを目指す。 そのために各校で核となるICT教育主任等の研修を行うと共にICT支援員を1名増員して派遣したり、業者による保守支援を委託することでスムーズな活用が行える体制を整える。加えて、学習者用デジタル教科書促進事業や指導者用デジタル教科書推進事業を通して、効果的な指導方法を引き続き検証する。また、小学校3年以上で平時から端末の持ち帰りを行い、家庭学習等で有効活用できるよう研究・情報共有を図っていく。 令和5年7月末に現校務支援システムの更新となるが、学習系端末やネットワークとの連携やテレワークなど様々な要因を考慮する必要があることから、令和4年度中に情報収集や研究を行っておく必要がある。
予算額	71,450 千円
実施状況	1 ICT支援員増員・ICT機器保守委託業務 ICT支援員として教員経験者1名を増員し、会計年度任用職員として3名を雇用。導入業者のICT機器保守委託支援員1名を含めた4名体制で各小中学校に配置し支援。 2 デジタル教科書 国の「学習者用デジタル教科書実証事業」により全小中学校で外国語と実技4教科のうち1教科を導入。市単独の「指導者用デジタル教科書実証事業」に小学校35名、中学校30名の教員が参加。令和6年度の本格導入に向け、今年度の実績を活かして、より多くの教員が活用できる環境を整備し、教員の指導力向上を目指す予定。

実施状況	3 端末の持ち帰り 令和4年度より小学校3年生以上で常時持ち帰りをを行うよう各学校に対応依頼済。先進地の事例等を参考に、学校と家庭との学習の連続性に配慮した望ましい課題を各学校において工夫しながら対応中。各校の事例を集約して情報共有を行い、持ち帰り学習に差が生じないように調整が必要。 Wi-Fi 環境のない家庭については、モバイルルーターの貸し出しを行い、持ち帰りによる端末充電器が不足する問題については、コロナ交付金により各校対応済み。 4 校務支援システム更新における検討 現システム（エフワン）を継続するか変更するかの方向性を大洲市学校情報教育推進協議会等で決定。 また、現在のネットワーク環境はセキュリティ確保のため校務系と学習系を分離しているが、国においてクラウド活用を前提としてネットワーク分離を必要としない認証によるアクセス制御により構築することを推奨する旨がガイドラインに記載された。しかし、国においても実証研究段階であることから、国のアドバイザーから助言等をもらいながら、先を見据えたネットワーク環境が構築できるよう情報収集や研究をしていく。 5 その他 ・校内の通信環境について検証を踏まえながら改善点の確認。 ・児童生徒数の増減に伴う端末の有効活用の検討。 ・教室用大型テレビ8台の更新（7月中）。 ・教職員研修をオンラインや対面、集合研修により実施予定。 ・発達段階（各学年等）に応じた目標とすべきICT活用スキル表の作成。
------	--

令和4年度 主要施策・事業調書

(担当課) 生涯学習課

事業名	2 放課後児童クラブの充実と推進
目的	放課後児童クラブの実施体制の充実を図るため、引き続き、入所定員の増加による待機児童の解消に努めるとともに、保育環境を改善する。 特に利用定員を超過するクラブや小学校以外の施設に設置しているクラブについては、施設の拡充や移転により利用定員を見直す。
事業概要	1 肱川児童クラブ 採光、換気など保健衛生面が十分に確保出来ていない肱川児童クラブは、旧肱川幼稚園を改修して移転し、利用定員を増やすとともに、保育環境の改善を図る。 2 久米児童クラブ 久米児童クラブは、JA 久米取扱所 1 階で実施しているが、採光、換気など保健衛生面が十分に確保出来ていないため、JA 久米取扱所の 2 階を改修して移転し、利用定員を増やすとともに、保育環境の改善を図る。 3 平児童クラブ 平児童クラブは、現在、小鳥越集会所で実施しているが、施設が手狭なうえに、年々利用希望者が多くなっていることから、建築が進んでいる平小学校体育館内に保育室を設置し、待機児童の解消と保育環境の改善を図る。
予算額	21,698 千円（監理業務委託、工事請負費、開設準備用備品購入費）
実施状況	1 肱川児童クラブ（定員 20 人 → 30 人） ・ 6 月 改修工事発注 ・ 9 月 「大洲市アフタースクール条例の一部改正（案）」提出 ・ 9 月 改修工事完了、移転、開設準備 ・ 10 月 開設 2 久米児童クラブ（定員 31 人 → 35 人） ・ 8 月 改修工事発注 ・ 10 月 改修工事完了、移転、開設準備 ・ 11 月 開設 3 平児童クラブ（定員 32 人 → 55 人） ・ 7 月 エアコン設置等発注 ・ 8 月 平小学校体育館完成、移転、開設準備 ・ 9 月 開設

令和4年度 主要施策・事業調書

(担当課) 文化スポーツ課

事業名	3 運動部活動の地域移行
目的	「運動部活動地域移行検討班会（班長：文化スポーツ課長）」では、スポーツ庁の運動部活動改革による「生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築」と「教員の働き方改革の推進」の両立を目指し、改革の一環として「休日の部活動の段階的な地域移行」及び「合同部活動の推進」に関する調査研究に取り組んでいる。 部活動は、その教育的意義を踏まえながら、多様な生徒のニーズに応えるため、今後も学校教育活動の一環として継続していくものであるが、並行して、持続可能な運営体制を整えるため、休日は、学校部活動の枠にとらわれず、生徒が自由にスポーツ活動の場を選択できる環境を整備していく。この取組により、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の推進を図っていく。
事業概要	◆目指す方向性 生徒が自由に地域スポーツ活動の場を選択できる環境整備の研究を進める。 1 平日は、従来どおり部活動方針を遵守しながら学校部活動を実施する。 2 休日は、段階的に地域のスポーツ活動（学校管理下外）へ移行していく。 ・休日に活動を希望する生徒は、地域のスポーツ活動（学校管理下外）として、地域のスポーツ団体や、協議会組織などに任意加入して活動する。 3 合理的で効率的な部活動の推進を図る。 ・地域の実情を踏まえ、合同部活動によるスポーツ活動機会の充実を目指していく。
予算額	0 千円
実施状況	◆今後のスケジュール ・令和4年度 「先進地視察等情報収集」「教員・児童生徒・保護者アンケート調査」 ・令和5年度～6年度 「推進計画の策定」「モデル事業（国庫補助）の実践」 ・令和7年度 「休日の運動部活動の地域移行の実現」

令和4年度 主要施策・事業調書

(担当課) 学校給食センター

事業名	4 学校給食の状況（地産地消の状況及び原材料の価格高騰に伴う影響）																																						
目的	○学校給食における地産地消の状況 大洲市内で生産される地域製品の消費拡大を目的に、学校給食での地産地消の向上や食育活動を通して大洲製品の認知度向上に努める。 ○原材料の価格高騰に伴う学校給食への影響 令和4年度から給食費を小中学校それぞれ 25 円の値上げを実施したが、世界的な物価高騰の中での学校給食への影響に対応する。																																						
事業概要	○学校給食における地産地消の状況 <table><tr><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td></tr><tr><td>19.2</td><td>29.5</td><td>44.3</td><td>62.1</td><td>61.2</td><td>63.3</td><td>60.1</td><td>55.9</td><td>69.5</td><td>64.9</td><td>76.9</td><td>61.7</td><td>66.7</td></tr></table> ・ H22. 11 月から大洲産米「ヒノヒカリ」100%使用 ・ H26. 11 月から大洲産の特別栽培米「にこまる」に変更 主要な野菜である、キャベツ、玉ねぎ、ジャガイモ、キュウリは 80%を超えているが、ニンジンについては 50%を下回っている状況である。一方、果物類については、スイカ、メロン、ミカン、キウイフルーツは 100%となっている。 ○原材料の価格高騰に伴う学校給食への影響 学校給食費については、平成 26 年 4 月に改定し 7 年が経過し、その間、主食や牛乳の価格上昇により副食費を節減し、献立を工夫することで給食を提供してきたが、消費税増税などにより副食費の食材価格も高騰しており、適切な献立内容や栄養価を維持していくことが困難であり、令和 4 年度から値上げをした。 ※ <u>小学校 245 円→270 円</u> <u>中学校 265 円→290 円</u> しかしながら、世界的な物価高騰により、今後食材費がどの程度上昇するのか大変憂慮している。1 学期においては、3 月に副食費の物資選定を実施し、単価契約をしているため現在のところ影響は出ていないが、2 学期は 7 月に、3 学期は 12 月に単価契約をするため、物価高騰の影響を受けるものと考えている。													H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	19.2	29.5	44.3	62.1	61.2	63.3	60.1	55.9	69.5	64.9	76.9	61.7	66.7
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3																										
	19.2	29.5	44.3	62.1	61.2	63.3	60.1	55.9	69.5	64.9	76.9	61.7	66.7																										
予算額	181,852 千円																																						

実施状況	○学校給食における地産地消の状況 近年の地産地消率は60%以上となっている。これは、「愛たい菜」の学校給食部会の設立やJ A加工部の冷凍野菜などの使用によるものである。 食育活動として、大洲産、愛媛産の表示のある献立表を作成し、学校での掲示や給食時間の放送で、大洲産の食材について周知している。また、小中学校へ食育ポスターや標語を募集し、入賞者の作品をカレンダーにし、小中学校、入賞者、教育関係機関などに配布している。 ○原材料の価格高騰に伴う学校給食への影響 今後の物価高騰により食材費が上昇した場合においては、その費用を子育て世帯のみなさんにご負担させることがないように、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を財源とした予算要求をする。
------	--

令和4年度 主要施策・事業調書

(担当課) 子育て支援課

事業名	5 大洲市立幼稚園・保育所再編計画の推進と見直し
目的	人口減少や少子化が想定以上に進む一方で、核家族化の進行、共働き世帯の増加など、子どもを取り巻く環境や家庭の求めるニーズは大きく変わっており、保育士不足による乳幼児を主とした待機児童の発生や、幼稚園利用者数の減少、また、平成30年7月豪雨災害による施設の被災など様々な課題等の早期解決を図る。
事業概要	「大洲市立幼稚園・保育所再編計画」に基づき、施設の統合再編、施設整備等を推進するとともに、施設の改築時期・統廃合等の検討を引き続き行い、計画の見直しを検討する。 1 認定こども園の整備 三善保育所及び栗津保育所を集約し、認定こども園として整備推進する。 2 改築時期・統廃合等の検討 (1) 改築時期の検討 徳森保育所・東大洲こども園 (2) 統廃合の検討 白滝保育所・南久米保育所 (3) 認定こども園化及び子育て支援施策拡充の検討 喜多・新谷・長浜・大和保育所、久米・平野・河辺幼稚園
予算額	29,427 千円
実施状況	1 認定こども園の整備 ・今年度、建設用地取得関連業務、敷地造成設計を進めていく。 ・令和5年度 敷地造成工事、基本設計・実施設計 ・令和6・7年度 建設工事 ・令和7年度中 認定こども園開園 を目指す。 2 改築時期・統廃合等の検討 ・継続して検討を進めていく。

○大洲市立幼稚園・保育所再編計画スケジュール

		施設名	R元年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	備考	
統合・再編	保育所＋保育所	〔三善保育所〕	用地検討	用地検討 新園舎設計	用地検討 新園舎建築	用地取得 造成設計 新園舎 認定こども園 運営開始	造成工事 新園舎設計	新園舎建築	三善保育所は新園舎完成まで休所	
		〔粟津保育所〕								
		〔菅田保育所〕		認定こども園 移行準備	認定こども園 菅田こども園 運営開始				完了	
	〔大成保育所〕	休所	菅田保育所へ統合後・閉所							
	幼稚園＋保育所	〔大洲保育所〕	増築設計	増築工事	認定こども園 大洲こども園 運営開始				完了	
		〔肱南保育所〕	仮園舎保育	認定こども園へ統合後、閉所						
		〔大洲幼稚園〕		認定こども園へ統合後、閉所						
		〔喜多幼稚園〕	認定こども園 改修設計・工事	認定こども園 東大洲こども園 運営開始					改築検討 改築着手時期については要検討	
		〔肱北保育所〕								
	〔肱川幼稚園〕	認定こども園 移行準備		認定こども園 肱川こども園 運営開始				完了		
〔肱川保育所〕										

	施設名	R元年度 (2019年度)	R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)	R6年度 (2024年度)	備考
改築	徳森保育所			改築設計	改築工事	新園舎 認定こども園 運営開始		改築着手時期については要検討
統合検討	南久米保育所			統合を検討				
	白滝保育所	統合を検討						
認定こども園化検討	幼稚園	久米幼稚園						
		平野幼稚園						
		河辺幼稚園						
	保育所	喜多保育所	認定こども園化及び子育て支援施策拡充の検討					
		新谷保育所						
		長浜保育所						
		大和保育所						

※「統合検討」及び「認定こども園化検討」対象施設については、検討期間内に今後の方針を決定し、その準備を開始します

議題2 その他